

創刊号だよ

まいにちかいえん きがる こられる どうぶつえん
～毎日開園 だれでも気軽に来られる動物園～



ZOOっといっしょ

2012年5月号
No.1

今月のニュース！

春のベビーラッシュ!!



ムフロン^{ムフロン}の赤ちゃん誕生

2月に男の子が生まれたのに続いて、今度は女の子が生まれました。耳にオレンジ色のタグが付いています。お母さんの後をついていくほほえましい様子がみられますよ。



ニホンザルも赤ちゃん生まれました

桐生が岡動物園のニホンザルは4月、5月が^{しゅつさん}出産シーズンです。今年は2頭^{てんじょう}妊娠していると思いますが、そのうちの1頭が^{しゅつさん}出産しました。妊娠・授乳中のお母さんザルは体毛が薄くなっていますが、子育てによる一時的なもので病気ではありません。安心してくださいね。

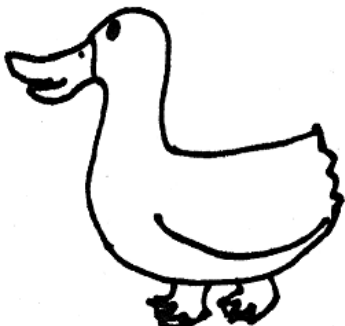
新しい仲間が登場しました

にぎやかなコールドック！

こどもどうぶつコーナーにコールドック4羽が仲間入りしました。原色と白色が2羽ずつで、どちらもオスとメスのペアです。

『マガモ』を^{ひんしゅくかいりょう}品種改良してできたのが『アヒル』で、アヒルをさらに品種改良してできた種類が『コールドック』になります。アヒルより小型です。甲高い大きな声で鳴くのでカモ

猟のおとりとして用いられていました。にぎやかに愛らしく動き回るコールドックをぜひ見に来てください。



シチメンチョウ山に^{ぬし}主 カムバック

シチメンチョウ山に1年半ぶりに2羽のシチメンチョウが戻ってきました。

このたび^{てんじょう}展示場の^{せいび}整備が終了したので、展示を再開しました。

シチメンチョウはキジ目キジ科の仲間で、キジ目の中では最も大きく、オスはメスの2倍の体重があり、10kg。メスは4kgくらいになります。

顔の色は赤色や青色に変化し、羽の色も黒や茶、^{きんぞく}金属のような美しい緑色もしています。

見た目は少し迫力がありますが、よく見るととてもきれいな鳥です。今はオスの2羽だけですが、これから群れの展示を目指していきます。

特集

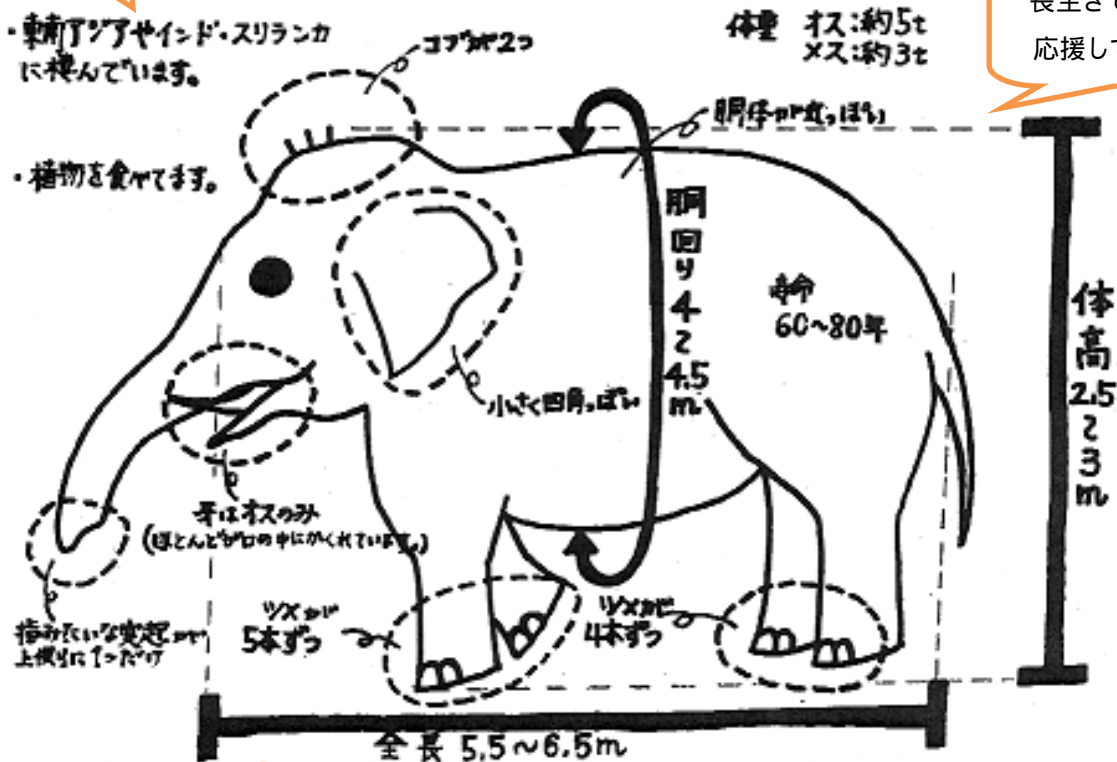
第一回目の特集は桐生が岡動物園の看板、アジアゾウのイズミです

昭和30年(1955年)にタイ生まれ。昭和32年に日本へやってきました
 日本にやってきてからは、神奈川県湯河原市泉区にあったひぐち動物園で飼育され、9歳のときに
 桐生が岡動物園へやってきました

一回だけモートに
 落ちたこともある

平成24年4月22日で57歳になりました
 国内でも高齢なゾウさんです
 イズミが桐生が岡動物園にやってきた日を誕生日にしています

長生きできるように
 応援してほしいぞう



イズミのごはん 1日分

ジャガイモ 10kg	キャベツ 4kg	乾牧草 7kg
リンゴ 1kg	ニンジン 1.5kg	ワラ 約20kg
バナナ 300g	フスマ 5kg	
ときどき 竹・たけのこ・木の枝など		



合計 約50kg

動物園ではおなじみのゾウさんですが、野生では開発による生息地の破壊、牙用、薬用の乱獲により、生息数は減少しています。1995年における生息数は3万5千490頭~4万9千985頭と推定され、希少動物のため国際取引が規制されています。

イズミの仲間たちを絶滅から救うにはどうすればよいのか皆さんも考えてみてくださいね。

桐生が岡動物園 群馬県桐生市宮本町3-8-13 年中無休 入園無料 TEL 22-4442

開園時間 9:00~16:30 水族館は16時、こどもどうぶつコーナーは10:00~15:00

編集長 下山園長 編集びと 井澤 石田 菅野 澤田 中島(里)